

# 鹿児島県薩摩川内市（平成26年3月28日作成）

- JR川内駅を中心とした市街地を「中心拠点区域」として位置付け、地域における多様なエネルギー源の確保に向けた次世代エネルギーの導入や情報通信技術を活用した幅広い分野におけるエネルギーマネジメント等の推進を目指す。
- 「都市整備分野」、「交通環境分野」、「建物等整備分野」の3分野において様々な取り組みを実施する計画。

## ■基本方針

＜キャッチフレーズ＞  
“eye”のまち、向田・平佐から進める 超スマート！薩摩川内市  
～みんなで創るエネルギーのまちの未来～

### ■基本方針1：都市整備分野

⇒スマートかつ安全・快適な都市づくりの推進

恵まれた立地環境や生活環境、そして地域特性等を活かし、スマートかつ安全・快適でコンパクトに集約された都市づくりの推進と、そこでの生活に相応しい市民のライフスタイルを市全域へ広げていきます。

- 1-1. 川内駅東口再開発での低炭素化モデル等推進
- 1-2. (仮) 薩摩スマート街道形成の検討推進
- 1-3. (仮) 街なかパーク&ウォークの検討推進

### ■基本方針2：交通環境分野

⇒シームレスかつスマートに繋がる、デザインが繋げる快適交通の形成

JR川内駅を中心に、次世代エネルギーが鉄道、バス、自動車、甌島への移動をはじめとして様々な観点から利用され、市民と来街者等の移動がシームレス化するとともに、デザインにも着目した楽しく快適な交通環境を形成します。

- 2-1. 川内駅ゼロエミッション化（低炭素化）実証事業
- 2-2. 電気自動車充電インフラ整備等地域交通のグリーン化推進
- 2-3. 動きのデザインで繋がる観光等移動・アクセス環境づくり

### ■基本方針3：建物等整備分野

⇒家から始まる安全・快適・スマートライフの実現

薩摩川内に合った新たなスマートかつ快適な生活スタイルを形成していくため、スマートハウスの建設とそこでのICTも活用した各種生活提案等を進め、市全域に家から始まる安全・快適・スマートライフを推進していきます。

- 3-1. スマートハウス等の建設と普及促進
- 3-2. HEMS等を活用した快適生活サポートの仕組みづくり

■計画期間：平成26年度から平成30年度までの5年間

■計画の目標：約157,000t-CO2 削減(2030年度：温室効果ガスの削減目標)

■計画区域（約400ha）と主な施策

